

おおむた 市議会だより

第190号

平成26年度 第2回定例会

平成26年(2014年)11月1日発行

インターネット議会中継配信
過去の録画※も視聴できます

大牟田市議会

検索

※平成21年5月以降

消防操法大会

(9月7日 福津市)



【主な記事】

- 平成26年度議会報告会を行いました/ぎかいの話題(2・3ページ)
- 正副議長と議会報編集委員会正副委員長を選出/ぎかいの話題(2ページ)
- 議員定数を26名から25名へ/ぎかいの話題(3ページ)
- 市民の生命と財産を守る消防団/おおむた自慢(12ページ)

もくじ

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| ■ぎかいの話題…………… 2 | ■代表質問(4人)…………… 6 |
| 平成26年度議会報告会を行いました | 森竜子議員、橋積和雄議員、今村智津子議員、古庄和秀議員 |
| 正副議長と議会報編集委員会正副委員長を選出 | |
| 議員定数を26名から25名へ | |
| ■本会議運営のあらましほか…………… 4 | ■一般質問(6人)…………… 10 |
| 第2回定例会、決算特別委員会のあらまし、議会日誌、 | 山口雅弘議員、平山光子議員、松尾哲也議員、 |
| 行政視察受入、インフォメーション、議案等の審議結果 | 徳永春男議員、平山伸二議員、境公司議員 |
| | ■連載 おおむた自慢ほか…………… 12 |
| | おおむた自慢「市民の生命と財産を守る消防団」、編集後記 |



平成26年度 議会報告会を行いました



手鎌地区公民館 (8月20日)



駿馬地区公民館 (8月22日)

第4回となる議会報告会は、3ページの表のとおり、9会場で開催し、過去最高の270人の市民の皆様に参加していただき、終えることができました。

開催までにご尽力いただいた地域役員の皆様、関係者の皆様に感謝申し上げます。

報告内容

第1部では、昨年度の議会報告会で出された意見「市立小中学校普通教室へのエアコン設置」に関する議会としての取り組みについて報告しました。

第2部では、議会活動の取り組

みとして、「三川坑跡の保存・活用に関する基本計画」と「(仮称)第5次総合計画」について報告しました。

報告会の概要

今回の報告会は、前半の開催場では、天候の不順な日が続きましたが、地域の皆様を中心に多くの方に参加していただきました。

意見の内容では、エアコンの設置、三川坑跡の保存・活用、避難所や無線などの防災の件、空き地・空き家の問題、議員定数、除草やごみ問題などの環境整備、学校再編に関わる課題などアンケート

のご意見を含めて約250の多岐にわたるご意見を寄せていただきました。

現在、議会改革特別委員会を中心に寄せられたご意見の集約分類作業を進めているところです。

9月に開催された定例会の質疑質問や決算特別委員会の中では、今回の報告会で皆様から寄せられたご意見も活かして、各議員が発言をさせていただきました。

今後も定例会や委員会をはじめ、あらゆる機会を通じて市政に反映させていきます。

正副議長と議会報編集委員会正副委員長を選出

9月3日の市議会第2回定例会において、西山照清前議長の辞任に伴う議長選挙を行い、三宅智加子副議長を議長に選出しました。副議長が議長に就任したことから副議長選挙も行い、吉田康孝議員を副議長に選出しました。また、9月3日の議会報編集委員会で、新たに北岡・平嶋の両委員を正副委員長に選出しました。

議長あいさつ

9月定例議会で議長に選任されました三宅智加子です。今期は、前西山議長と共に市議会全体で議会改革に取り組んで参りました。

今年で4回目の開催となった議会報告会には、地域の皆様の御協力を頂き、270名の市民が参加されました。「行政と議会は、車の両輪である。」という議会の使命を再確認し、大牟田のまちづくりに役立つように努めます。

三宅智加子
議長

副議長あいさつ

9月3日本会議で副議長に選任された吉田康孝です。来年の任期まで、残された期間、市民の一人お一人のため、全力で職務を全うする覚悟です。

また、大牟田市議会初の女性議長をしっかりサポートしながら議会運営に取り組みます。

大好きな大牟田のため、大好きな大牟田市民のため、全力で頑張ります。

吉田康孝
副議長

議会報編集委員会

(9月3日選出)

北岡あや
委員長平嶋慶二
副委員長



貴重な意見・要望を承りました 今後の活動に活かしてまいります

平成26年度議会報告会 参加人数

開催日	会 場	男 性	女 性	合 計
8月1日(金)	勝立地区公民館	13	4	17
8月4日(月)	総合福祉センター	13	4	17
8月5日(火)	三池地区公民館	12	5	17
8月7日(木)	労働福祉会館	15	7	22
8月20日(水)	手鎌地区公民館	25	13	38
8月22日(金)	駛馬地区公民館	31	17	48
8月26日(火)	大正小学校体育館	34	20	54
8月28日(木)	三川地区公民館	19	6	25
8月30日(土)	吉野地区公民館	25	7	32
合 計		187	83	270

※報道関係者を除く

参加者のアンケート集計結果(抜粋)

回答者数 234人 () は昨年の議会報告会での回答割合(昨年の回答者数183名)

○年代

20代以下(1.3% [1.1%]) 30代(3.0% [2.7%]) 40代(10.7% [2.7%])
50代(9.4% [13.1%]) 60代(32.1% [35.5%]) 70代~(43.2% [44.3%])
無回答(0.4% [0.6%])

○開催日時について

参加しやすかった(80.8% [79.8%]) 参加しにくかった(7.7% [4.9%])
無回答(11.5% [15.3%])

○内容について

満足(16.7% [12.0%]) やや満足(42.9% [44.8%])
どちらでもない(22.3% [22.4%])
やや不満(8.2% [6.0%]) 不満(0.0% [1.1%]) 無回答(9.9% [13.7%])

○議会に関心が

もてた(38.0% [36.1%]) 少しもてた(40.2% [35.0%])
どちらでもない(9.0% [15.3%]) もてなかった(3.0% [1.6%])
無回答(9.8% [12.0%])

議員定数を26名から25名へ

議員定数の問題は、4月に各派代表者会で議題に上がり、来年の任期満了を迎える前に一定の結論を得ることが必要であるということから、議会改革特別委員会で慎重に論議してまいりました。

議論の過程で、議会改革を推進し、今後も増加する行政事務を監視するためにも、議員の数は一定数が必要であり「現状維持で現定数のままでよい」とする意見と、人口も減少しており、現状は欠員1名の25名で議会活動をしている

ことから「減じてもよいのではないか」とする意見に大きく分かれました。

また、8月に行われた議会報告会においても、市民の皆様からも両方の意見がありました。

結果として、9月議会の最終日の9月26日に「大牟田市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について」が議員提案され、賛成多数で可決し、議員定数が26名から1名減じて25名となることに決まりました。



委員会メモ



25年度普通会計決算

〔総務委員会〕

9月2日の委員会で、平成25年度普通会計の決算について報告を受けました。25年度は、実質単年度収支で5億15百万円の黒字となりましたが、経常収支比率などの財政指標は目標を達成しておらず、今後も、議会では財政健全化の取り組みなどに注視していきます。

いじめ防止基本方針の策定

〔市民教育厚生委員会〕

9月2日の委員会で、大牟田市いじめ防止基本方針の策定についての報告を受けました。この方針は、いじめ防止対策推進法に基づくもので、いじめ問題は、児童生徒にとって重大な問題であるとの認識に立ち、防止等のための対策を総合的に推進するために策定するものです。

まちづくり基金事業

〔都市環境経済委員会〕

7月29日の委員会で、26年度まちづくり基金事業について、まちづくり活動等事業2件、まちづくり施設等整備事業1件が認定された旨の説明を受けました。今後も、基金の趣旨に沿った地域活性化事業や空き店舗を活用した事業等について随時募集が行われます。

委員会のあり方を検討

〔議会改革特別委員会〕

議会には、常任委員会や特別委員会等を設置し、本会議で付託された議案の審査、特定事件の調査等を行っています。

今期の委員会活動を総括し、次の選挙後の新たな議会に反映できるよう委員会のあり方について議論していきます。



本会議運営のあらまし

■議員定数を削減する条例を可決

平成26年第2回定例会は、9月3日に招集され、9月26日までの24日間の会期で運営しました。

初日に議長・副議長の選出を行いました。定例会で審議した議案等は、25年度の各会計決算8件、5億6,997万円を追加する一般会計

補正予算、条例議案など議案20件、諮問1件、議員定数を削減する条例改正案など発議13件、請願2件、報告10件の計54件でした。

本会議では、小中学校へのエアコン設置等の諸課題について、各会派の代表質問4名を含む10名の議員が登壇し、市長、当局に質問

しました。また、25年度各会計決算議案は、決算特別委員会に付託し、審査を行いました。

本会議最終日までに、意見書案の発議4件を除いた議案、諮問、発議、請願をそれぞれ認定、可決、異議なき旨答申、採択をして本会議を閉会しました。

決算特別委員会のあらまし

■空き地対策等について要望

議員全員で構成する決算特別委員会（平山光子委員長、森竜子副委員長）を設置し、25年度の各会計決算議案8件について、9月17日から22日までの4日間にわたり、慎重に審査しました。

審査の結果、53項目の意見・要望を盛り込んだ委員長報告書をま

とめ、本会議最終日に全ての決算議案を認定しました。

このうち、議会報告会でも市民の皆様から多くの意見・要望が出されていた空き地の樹木対策、空き家・老朽危険家屋の管理については、全会派及び無所属委員全員により合意形成を図り、今後、市長に回答を求めることとしました。

平成25年度各会計決算の概要（1万円未満四捨五入）

一般会計及び特別会計		歳入	歳出
一般会計		557億1,623万円	543億4,896万円
特別会計	国民健康保険	168億3,349万円	168億2,953万円
	財産区	319万円	319万円
	介護保険	126億6,266万円	126億2,604万円
	後期高齢者医療	20億553万円	19億7,294万円
	病院事業債管理	9億6,162万円	9億6,162万円
事業会計		収益的収入	収益的支出
水道事業		25億3,309万円	23億9,927万円
公共下水道事業		25億873万円	22億4,481万円

合意形成を図った最重要の要望（全文）

1. 空き地対策については、樹木に関する相談や対策を求める市民からの要望も多いことから、本市のいわゆる草刈条例の対象に加えられるか検討を深められたい。
2. 空き家・老朽危険家屋については、多くの市民から相談・苦情が寄せられており、適正な管理を規定する条例の制定を早急に検討されたい。また、老朽危険家屋等除却促進事業については、予算の拡充を図られるとともに、自己資金の都合がつかない人にも配慮した事業にならないか検討されたい。

議会日誌（7月～9月）

- 【7月】 4 議会改革特別委員会
8 総務委員会
11 市民教育厚生委員会
16 議会報編集委員会、議会改革特別委員会
29 都市環境経済委員会
- 【8月】 4 各派代表者会、議会運営委員会
11 都市環境経済委員会
27 各派代表者会、議会運営委員会
- 【9月】 2 市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会、総務委員会
3 議会改革特別委員会、議会運営委員会、第2回定例会本会議〔開会〕、議会報編集委員会
8 議会運営委員会、第2回定例会本会議〔質疑質問〕、請願等調整委員会
9 第2回定例会本会議〔質疑質問〕
10 第2回定例会本会議〔質疑質問〕、請願等調整委員会
11 総務委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会
16 各派代表者会、議会運営委員会、第2回定例会本会議〔決算議案を除く議案等採決〕、決算特別委員会、議会報編集委員会
17 決算特別委員会
18 決算特別委員会
19 決算特別委員会
22 決算特別委員会、起草委員会
24 起草委員会
25 起草委員会
26 起草委員会、各派代表者会、議会運営委員会、第2回定例会本会議〔決算議案採決、閉会〕

インフォメーション

■次の定例会は12月です

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口（1階）または市民生活課（2階）奥の階段からお上がりください。

■インターネット会議中継

パソコン等でインターネットがご利用できる場合は、大牟田市トップページの右側の列「大牟田市議会」の下「会議中継はこちら」からご覧ください。生中継の他に、平成21年5月臨時会以降であれば、過去の録画も視聴できます。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで会議録をご覧ください。12月上旬から閲覧できます。ホームページでも12月上旬から閲覧・検索できます。

行政視察受入（7月～9月）

月	日	都道府県	団体名	視察項目
7	9	埼玉県	本庄市議会	認知症高齢者への支援
	15	愛知県	東浦町議会	地域認知症ケアコミュニティ
	16	福岡県	民主党福岡県総支部	世界遺産暫定リスト施設、炭鉱関連施設
	23	岡山県	岡山市議会	ユネスコスクールのまち大牟田
	31	千葉県	松戸市議会	議会改革
8	5	京都府	京都市議会	地域認知症ケアコミュニティ推進事業
	6	千葉県	千葉市議会	認知症対策
	22	福岡県	糸島市議会	議会改革・議会報告会の取り組み
9	29	北海道	苫小牧市議会	重要港湾三池港を活用した地域振興策



平成26年度大牟田市議会 第2回定例会 議案等の審議結果一覧

議案等名	会派等名	自民	公明	護憲	共産	無所属				賛成数	審議結果
		8人*	4人	5人	3人	入江裕二郎議員	猿渡軍紀議員	城後正徳議員	吉田孝議員		
議案	第11号 平成25年度大牟田市一般会計決算の認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	20	認定
	第12号 平成25年度大牟田市国民健康保険特別会計決算の認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	20	認定
	第13号 平成25年度大牟田市財産区特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	23	認定
	第14号 平成25年度大牟田市介護保険特別会計決算の認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	20	認定
	第15号 平成25年度大牟田市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	20	認定
	第16号 平成25年度大牟田市病院事業債管理特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	23	認定
	第17号 平成25年度大牟田市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	23	認定
	第18号 平成25年度大牟田市公共下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	23	認定
	第19号 平成26年度大牟田市一般会計補正予算	○	○	○	×	○	○	○	○	20	多数可決
	第20号 平成26年度大牟田市国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第21号 平成26年度大牟田市介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第22号 平成26年度大牟田市後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第23号 大牟田市総合計画条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第24号 大牟田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第25号 大牟田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	×	○	○	○	○	20	多数可決
	第26号 大牟田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	×	○	○	○	○	20	多数可決
	第27号 大牟田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	×	○	○	○	○	20	多数可決
	第28号 大牟田市ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第29号 大牟田市高齢者生きがい創造センター条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第30号 大牟田市重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第31号 大牟田市労働福祉会館条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第32号 大牟田市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第33号 請負契約の一部変更について(大牟田市消防庁舎新築工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第34号 請負契約の一部変更について(大牟田市大牟田文化会館空調設備改修工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第35号 請負契約の一部変更について(大牟田市中学校給食共同調理場新築工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第36号 請負契約の一部変更について(大牟田市中学校給食共同調理場空調設備工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第37号 過疎地域自立促進計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第38号 筑後地域消防通信指令事務協議会規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	23	全会可決
諮問	第1号 人権擁護委員候補者の推薦について(一ノ瀬彰子氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	23	異議なし
	第15号 農業・農協改革に関する意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	23	全会可決
発議	第16号 手話言語法制定を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第17号 オスプレイの佐賀空港配備と低空飛行訓練等の全国運用中止を求める意見書案	×	×	○	○	×	×	×	×	8	少数否決
	第18号 消費税の税率引き上げ決定に反対する意見書案	×	×	○	○	×	○	×	○	10	少数否決
	第19号 労働者保護ルールの改悪に反対する意見書案	×	×	○	○	×	×	×	×	8	少数否決
	第20号 子ども・子育て支援新制度実施に当たり財源の確保と説明責任を果たすことを求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第21号 集団的自衛権行使の閣議決定の撤回と関連諸法の立法化の中止を求める意見書案	×	×	○	○	×	×	×	×	8	少数否決
	第22号 奨学金制度の充実を求める意見書案	×	○	○	○	×	○	×	○	14	多数可決
	第23号 魅力ある地方都市の構築へ向けた施策の推進を求める意見書案	○	○	○	×	○	○	○	○	20	多数可決
	第24号 産後ケア体制の支援強化を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第25号 危険ドラッグ(脱法ハーブ)の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第26号 軽度外傷性脳損傷に係る周知及び適切な労災認定に向けた取り組みの推進を求める意見書案	×	○	○	○	○	○	×	○	15	多数可決
	第27号 大牟田市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	×	×	×	○	○	○	13	多数可決
請願	第2号 「農業・農協改革」に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	23	採択
	第3号 手話言語法制定を求める意見書の提出についての請願	○	○	○	○	○	○	○	○	23	採択
	第9号 平成25年度大牟田市一般会計予算継続費の精算について	採決はありません									
報告	第10号 平成25年度大牟田市健全化判断比率について										
	第11号 平成25年度大牟田市水道事業会計資金不足比率について										
	第12号 平成25年度大牟田市公共下水道事業会計資金不足比率について										
	第13号 地方独立行政法人大牟田市立病院の事業報告について										
	第14号 地方独立行政法人大牟田市立病院の業務実績に関する評価結果について										
	第15号 地方独立行政法人大牟田市立病院の第1期中期目標に係る事業報告について										
	第16号 地方独立行政法人大牟田市立病院の第1期中期目標の期間における業務実績に関する評価結果について										
	第17号 株式会社花ぶらすの事業報告について										
	第18号 株式会社花ぶらすの事業計画について										

* 全議案等について西山照清議員を除く。

会派名称	所属議員 (★は会派代表)
自由民主党議員団	光田 茂★、境 公司、田中正繁、塚本二作、徳永春男、西山照清、森 竜子、山口雅弘
公明党議員団	大野哲也★、今村智津子、塩塚敏郎、平山伸二、三宅智加子(議長)
社民・民主・護憲クラブ	松尾哲也★、平嶋慶二、平山光子、古庄和秀、森田義孝
日本共産党議員団	高口講治★、北岡あや、橋積和雄

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求めます。反対の意思のある議員の態度を確認することはありません。そこで、一覧表については、起立した会派(または議員)を○と表記し、着席の会派(または議員)を×と表記していますが、×が反対とは限りません。また、空白は欠席または表決の棄権を表します。なお、議長は採決に加わることはできません。



子育て支援施策の強化で まちづくり再建を



自由民主党議員団
森 竜子 議員

9月8日 一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について
 - (1) 普通交付税の予算割れへの対応
 - (2) 総合計画のこれまでの成果と次期計画策定の考え方
- 2 子育て支援施策への取り組み強化について
- 3 世界遺産登録とまちづくりについて
- 4 議会報告会での市民意見について
 - (1) 防災対策への取り組み
 - (2) 小中学校へのエアコン設置
 - (3) 中心市街地の活性化

市長の政治姿勢について

普通交付税の 予算割れへの対応

問 上記について、どのような対応を行うのか。また、当初予算で計上している事業の削減や市民サービスを低下させることにならないか、市長の考えを聞きたい。

答 財政調整基金からの取り崩しを行うことにしているが、決算見込みを見きわめながら最終的な措置を行う。当初予算で予定している事業については、事業の効率化による経費縮減を図りながら着実に実施することで、市民サービスに影響を与えないよう行っていく。

総合計画のこれまでの成果と 次期計画策定の考え方

問 地方自治法改正により総合計画基本構想の策定義務が廃止されたが、本市が今後も総合計画が必要と判断した理由を聞きたい。

答 複雑化、多様化する地域課題に対し、柔軟かつ適切に対応しながらも、市政運営に当たっては総合的、計画的な視点に立って進めていく必要がある。また、将来目指すべき姿を示すことで、市民と行政がまちづくりの目的を共有することからも有効だと考える。

問 総合計画は、市や市民のためのもので、市長の公約実現のため

の手段ではないと考えるが見解は。

答 政策は市長が立てるものであり、同計画にその政策を掲げないと政策は実現できないと考える。

子育て支援施策への 取り組み強化について

問 保育士の確保が難しくなってきた現状もあり、保育士の待遇改善も含め、質の向上を図る上で、本市での取り組みを聞きたい。

答 単独では難しいが、国や県の動向を注視しながら、財源の確保に努めていきたい。

問 学童クラブは6年生まで拡充されることになるが、受け入れ体制の強化を図るべきではないか。

答 ニーズの増加が見込まれており、受け入れ体制の確保を目指す。

問 子育て支援の充実は、まち再建にも寄与するものと考え。子どもに関するすべての対応・相談ができる総合子ども課等の設置と職員体制の充実が必要だがどうか。

答 子ども・子育て支援新制度担当の設置など体制強化を図っている。新制度の推進も視野に入れ、窓口の一本化や職員体制の確保に向け、引き続き検討していきたい。

世界遺産登録と まちづくりについて

問 来年度の予算措置はどうか。

答 三池炭鉱関連施設の世界遺産登録を見据えた取り組みなど、まち再建ということで、これまで以上に積極的・効果的な投資を行っていく。また、経済効果が生まれ、地域の活性化へつながるような取り組みが必要と考える。



問 三川坑跡は、世界遺産の構成資産のような縛りはない。

アイデアを生かし、人を呼び込み、経済効果も得られるような活用を考えはないか。

答 三川坑跡は整備費のみならず、維持管理費も一定見込まれることから、収入の確保も検討する。

議会報告会での 市民意見について

小中学校への エアコン設置

問 エアコン設置は、公平性や緊急性からも3カ年程度の計画でなく、小学校一斉、中学校一斉といった2カ年での設置ができないか。

答 3カ年程度の計画としているが、今後、具体的には次期総合計画の検討の中で総合的に判断をしていきたい。



市民のくらしと営業を守る立場で、消費税10%増税に反対の意思表示を



日本共産党議員団
橋積 和雄 議員

9月8日 一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について
 - (1) 消費税増税の影響と10%増税への見解
 - (2) 医療・介護総合法成立の影響と対策
 - (3) オスプレイ佐賀空港配備計画への見解
- 2 子ども・子育て支援新制度について
 - (1) ニーズ調査結果の分析及び本市における子ども・子育ての現状と課題
 - (2) 利用手続き、支給認定制度と利用調整
 - (3) 保育料負担の軽減
 - (4) 条例案と市民意見の反映
 - (5) 保護者、市民への十分な説明
- 3 これからの道の駅おおむたの展望について

市長の政治姿勢について

消費税増税の影響と10%増税への見解

問 本年4月からの消費税8%の増税で、4月から6月期の実質国内総生産が前年比6.8%減と落ち込み、市民生活への影響は深刻である。市長は、来年10月からの10%増税に反対を表明すべきだ。

答 景気が良くなならない限り増税はできないし、景気の上昇を継続する施策が必要と考える。そのため、国の地方創生の取り組みが確実に地方に波及することを期待し、今後の国の動向を注視していく。

医療・介護総合法成立の影響と対策

問 介護では、年金収入280万円以上の人の利用料を2割負担にし、要支援1と2の人の訪問や通所介護サービスを市町村に丸投げなど、利用を抑制する内容となっている。本市への影響と対策はどうか。

答 この法律は、医療と介護を地域全体で支える支援提供体制への変革を促すもの。自己負担増など利用者に少なからず影響が出る。必要とされるサービスの検討を進め、安定的な制度運営を進めたい。

オスプレイ佐賀空港配備計画への見解

問 佐賀空港の軍事利用と危険な

オスプレイ配備は、本市を含む九州全域に危険が及び重大だ。市民の命と暮らし、安全を守る立場で、本市としても反対をすべきだ。

答 九州防衛局より柳川市に対し、佐賀空港へのオスプレイ配備計画の説明がなされているが、飛行ルートは示されておらず、今後の事態の推移を注視していく。

子ども・子育て支援新制度について

ニーズ調査結果の分析及び本市における子ども・子育ての現状と課題

問 ニーズ調査結果から、本市の子ども・子育ての現状と課題は。

答 子育ての不安や負担感を持つ人がふえており、これを軽減していく取り組みが課題である。

問 新制度では、保育所や認定こども園の利用前に認定申請を行う必要があるが、手続きの負担軽減の取り組みはどうか。

答 手続きの簡素化を図りたい。

問 新制度における保育料の軽減について見解を聞きたい。

答 現在の保育料の水準を基本として検討していく。

問 新制度に伴う本市の条例案は国の基準並みだが、他市では基準以上もある。どう検討したのか。

答 特別な事情がなかったため、一部を除き国の基準どおりとした。

問 パブリックコメントの対象ではないが、学童保育所は小6まで受け入れてほしいとの意見も出ているが、どう考えるか。

答 子ども・子育て支援事業計画を基本として、学童保育所の整備を検討し、充実に取り組んでいく。

問 新制度について保護者、市民への十分な説明が必要だが、具体的な取り組みを聞きたい。

答 今後、幼稚園や保育所に出向いて説明したり、個別の相談を受けるなどの対応をしていく。

これからの道の駅おおむたの展望について

問 管理者の(株)花ぶらすは5年連続赤字で、累積赤字額が1億円を超えた。これまでの管理運営のあり方を総括すべきだ。

答 25年度に経営再建計画を策定され、大幅な人員削減等が行われたが、累積赤字が拡大している。

今後は、公募による指定管理者の選定結果を踏まえ対処していく。





世界遺産登録に向け、 市県外及び海外からの来訪者を 想定し、おもてなしの心の醸成を



公明党議員団
今村 智津子 議員

9月8日 一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について
 - (1) 次期総合計画の策定方針
 - (2) 世界遺産登録の課題
 - (3) 平成26年度普通交付税等の決定による影響
- 2 地域活性化について
 - (1) 地域活性化センターの取り組み成果
 - (2) 炭素繊維リサイクル実証研究事業の終了
 - (3) 地域の元気企業の情報発信
- 3 農業政策について
 - (1) 新規就農者の育成
 - (2) 女性の視点を取り入れた農業の振興策
- 4 高齢者対策について
 - (1) 地域包括ケアシステムの構築
 - (2) ボランティアポイント制度の推進

市長の政治姿勢について

姿勢として、計画策定に臨む。

世界遺産登録の課題

問 世界遺産登録が本登録となった場合、多くの来訪者が想定されるが、市はどのような対応を考えているのか。

答 世界遺産登録推進本部を設置し、周辺整備、広報観光、文化財指定のワーキンググループをつくらせており、ここで誘導案内や駐車場の確保、ガイド不足等の諸課題について整理し、対応策を検討している。

懸念される混乱を最小限に抑え、来訪者をスムーズに受け入れるための対応を図っていきたい。



三池港

次期総合計画の策定方針

問 次期総合計画策定に臨む市長の基本的な考え方を聞きたい。

答 まち再建に向け、市民との協働による計画づくり、時代や地域のニーズに的確に対応した計画づくり、地域資源を生かした計画づくり、目的・目標を明確にした計画づくりの四つの項目を基本的な

地域活性化について

地域活性化センターの 取り組み成果

問 同センターでは、専門的知識を生かして、企業の課題解決、各種助成金の獲得に向けた申請支援に努めているが、アドバイザーの力は重要。どう成果が現れているのか。

答 昨年度の実績では、延べ410社の企業訪問を実施し、研究開発に関する相談や取引の拡大、産学連携に関する相談が76件寄せられ、学術機関や公設試験研究機関とのマッチングを図るなど、その全ての相談に対応を図ってきた。

研究開発を実施する企業の掘り起こしを行い、国への申請書作成のサポートなどに努め、結果、全国では約40％程度の採択率の中、本市では100％採択され、総額約4億7,000万円の補助金を獲得した。

今では、会社の主力商品になっているもの、売上高の増加や新規雇用創出、工場の増設につながっているものもある。

地域の元気企業の 情報発信

問 地元企業の中には、新たな製品開発と熟練の技術で世界に誇る活躍をされているところもある。

市民に地域の元気企業をもっと積極的に情報発信すべきではないか。

答 企業の情報を広く市民へ紹介することで、元気を共有するとともに、企業活動への理解を深めてもらい、地場企業への就職、定住化なども目的として本年度より「元気企業だより」を発行しており、取り組みを進めたい。

農業政策について

女性の視点を取り入れた 農業の振興策

問 女性農業者が、様々な取り組みに参画できる環境づくりを進めていく必要があるのではないか。

答 農産物加工品開発への助成や販売促進のための講習会の実施など、六次産業化への支援に努めている。女性の視点が農業経営に反映される環境づくりに取り組み、さらなる農業振興につなげていく。

高齢者対策について

ボランティアポイント 制度の推進

問 高齢者の介護支援ボランティアポイント制度を推進すべきと考えるが、見解は。

答 地域包括ケアシステムの構築に向けての課題を踏まえ、同制度については、関係団体とも意見交換を行い、前向きに検討する。



災害に強く、暴力団を排除した 安心で安全なまちづくりと 市民から信頼される行政サービスを



社民・民主・護憲クラブ
古庄 和秀 議員

9月9日 一問一答方式により質問

- 1 将来に向けた本市の都市像について
(1) コンパクトなまちづくり (2) 行政サービスのあり方
- 2 安心・安全のまちづくりについて
(1) 災害に強いまちづくり (2) 暴力団排除に向けての市長の決意
- 3 医療介護総合確保推進法施行に伴う高齢社会に求められるまちづくりについて
(1) 求められる地域社会 (2) 市町村計画
(3) 介護予防、健康づくりのあり方
(4) 大牟田労災病院廃止後の確認書に関する見解
- 4 生活困窮者自立支援法の施行について
(1) セーフティネットの現状と課題
(2) 地域福祉計画へ盛り込む必要性
(3) 本市に必要な体制整備
(4) 教育委員会と福祉部局との連携の必要性

将来に向けた本市の 都市像について

コンパクトなまちづくり

問 人口減少の中、長期的な視点に立ったコンパクトなまちづくりについて市長の考えを聞きたい。

答 全国的な人口減少の中、次期総合計画でも、人口減少社会におけるコンパクトなまちづくりを検討していく。

行政サービスのあり方

問 昨年度より市職員の事務処理ミスが続いているが、原因と解決策を聞きたい。

答 原因は、①事務処理の根拠となる規定等の認識不足、②情報システムの確認不足、③事務引き継ぎが不十分などである。

解決策は、これまでの取り組みの徹底に加え、職位に応じた研修と、その内容を各職場で周知することで、職員一人一人の意識の醸成を図り、再発防止に努めていく。

安心・安全のまちづくりについて

災害に強いまちづくり

問 災害に強いまちづくりについて市長の考えを聞きたい。

答 国や自治体が行うハード面と、住民主体の地域コミュニティの

ソフト面が一体となって災害に強いまちが形成されると考える。

あわせて、自分の身の安全はみずから守る自助を一人一人が意識し、隣近所で力をあわせて助け合い取り組んでいく共助が、何よりも必要なことと考える。



市防災訓練の様子

暴力団排除に向けての 市長の決意

問 6月27日の午前零時、福岡など4県公安委員会が、道仁会と浪川陸会の特定抗争指定を解除した。

今後、福岡県・北九州市・久留米市と連携し、国に対し暴力団排除に向けた法的措置を強く求めるべきだ。市長の決意を聞きたい。

答 6月27日の指定解除で、市民の不安が募ることになり、一層暴力団排除に向けた思いを強くした。今後は、暴力団壊滅のための抜本的な法的措置等を、国に対して継続して要望していく。

また、警察を初め関係機関等や市民と一体になって暴力団排除の取り組みを進め、安心・安全なまちづくりの実現に努めていく。

医療介護総合確保推進法施行に伴う高齢社会に求められるまちづくりについて

求められる地域社会

問 法律の目的について市長の考えを聞きたい。

答 市民が幸せに暮す上で、健康で自立した生活は大変重要なこと。

本市でも、団塊の世代が後期高齢者となる平成37年を見据え、中長期的な視点で地域包括ケアシステムを構築し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくりを進めていきたい。

生活困窮者自立支援法の施行について

セーフティネットの現状と課題

問 お困り感のある方々へのセーフティネットの現状と課題について聞きたい。

答 来年4月からの生活困窮者自立支援法の施行により、経済的に困窮された方は生活保護に至る前にその自立を支援することになる。

今後は、多くの関係機関が緊密に連携し包括的に支援する体制を整備し、関係機関の支援調整機能の充実も必要となることから、ただ、待ちという姿勢ではなく、早期の対応が大きな課題であると認識している。



島鉄高速船存続のため 積極的な利用を

自由民主党議員団 山口 雅弘 議員

9月9日 一問一答方式により質問

■1 島鉄高速船存続問題と観光交流協定締結後の効果について

島鉄高速船存続問題と観光交流 協定締結後の効果について

問 観光交流協定締結後の経過を聞きたい。

答 公共施設の入場料の減免やレンタサイクル無料化などを実施するとともに、7月のおおむた大蛇山まつりや8月の島原温泉ガマダス花火大会のイベントの機会を捉え、高速船を積極的に紹介するな

ど、PRに努めている。

問 現在、島鉄社が置かれている現状と課題を聞きたい。

答 便数の減便や20%程度の料金値上げをされている。ことし8月末の時点での利用者数は、対前年度比で8割弱にとどまっており、営業収支等も厳しい状況であると報告を受けている。

問 観光営業やイベントの宣伝などを競合他社が取り組んでいるが、島鉄高速船を存続するために市長として何か考えはあるか。

答 観光交流協定を結び、一連の交流も行ってきた。

確かに情勢は厳しいが、引き続き高速船の継続に向けて大牟田、島原の両市で頑張っていきたいと考えている。



遺産を継承していく 意義と価値の共有を

社民・民主・護憲クラブ 平山 光子 議員

9月9日 一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について
(1) 核兵器廃絶・平和宣言都市としての平和への思い (2) 次代に向けた石炭資源の活用
- 2 世界遺産登録推進とまちづくりについて
(1) 世界遺産登録への期待と市民意識 (2) 「苦難の過去」についての学習
- 3 与論町との教育交流について
- 4 放課後児童健全育成事業の充実について
- 5 困難を抱える子どもの支援とスクールソーシャルワーカーの配置について

世界遺産登録推進と まちづくりについて

問 三池炭鉱関連施設の世界遺産登録に向けさまざまな取り組みが行われているが、市民意識の盛り上がりについての現状認識は。

答 全市的な盛り上がりについては十分ではない。引き続き市民との協働による事業の推進を図り、全市的な機運の醸成に努めたい。

問 世界遺産の取り組みは、世界遺産登録成功のためだけでなく、苦難の過去も含め、遺産を後世に継承する意義と価値を市民が理解・共感するために必要であると考えるが、市長の見解は。

答 先人の労苦や、歴史の光と陰を私たちが受けとめて、後世に伝えていくという作業だと考えている。

核兵器廃絶・平和宣言都市 としての平和への思い

問 来年は本市の核兵器廃絶平和都市宣言から30周年、核廃絶・平和の思いを広く市民が共有するために、記念行事等の開催を。

答 戦後70年がたち、戦争の記憶が風化しているのではないかと危惧している。節目の年の事業内容について検討したい。



小中学校のエアコン 設置は2年間で

社民・民主・護憲クラブ 松尾 哲也 議員

9月9日 一問一答方式により質問

- 1 小中学校のエアコンの設置について
(1) 小中学校のエアコン設置の進捗状況 (2) エアコン導入方式の選定
- 2 J R 駅の利便性確保について
(1) J R 大牟田駅西口の無人化後の影響
(2) J R 銀水駅、吉野駅の無人化による影響 (3) J R 九州に対する働きかけ
- 3 ふるさと納税について
(1) ふるさと納税の考え方

小中学校のエアコンの 設置について

問 28年度からの設置に変更はないか。また、設置計画の進捗状況は。更に、学校間格差が生じないよう2年間で設置する方法を次期総合計画に盛り込めないか。

答 次期総合計画の中で財政計画との整合を図り、28年度からの3カ年程度で設置するため、今年度

中に設置計画を策定したい。

いきたい。

J R 駅の利便性 確保について

問 駅の無人化に対する影響と今後の取り組みについて聞きたい。

答 生徒や地域に対するさまざまな影響を懸念している。この声をJ R 九州に伝え、駅の利便性、安全性が確保されるよう取り組んで

ふるさと納税について

問 上記について本市の考え方を聞きたい。

答 地域の特産品を含めてお礼することが、地域の活性化になることから、現在、お礼の品の見直しを関係課で協議している。



第2次食育推進計画のあり方を問う 庁内連携なくして食育推進なし

自由民主党議員団 徳永 春男 議員

9月10日 一問一答方式により質問

- 1 第1次食育推進計画の総括を踏まえた(仮称)第2次食育推進計画への取り組みについて
 - (1) 第1次食育推進計画における各部局間の数値目標の総括と今後の取り組み
 - (2) (仮称)第2次食育推進計画で重点的に取り組む施策と基本的施策

第1次食育推進計画における各部局間の数値目標の総括と今後の取り組み

問 学校給食の地場産としては、定住自立圏構想からも荒尾、南関も地場産に入ると思うがどうか。

答 福岡県産を地場産と位置づけているが、荒尾、南関も近隣であり、地場産と言えると思う。割合等については今後検討したい。

問 地場産物の学校給食使用割合が目標値と差があるのは、庁内の連携不足に要因がある。関係部長級による連絡会を設けてはどうか。

答 提案の定期的会議を設けることは大切であり、しっかりと関係部局と協議しながら適宜適切に対応していく(産業経済部)。学校給食への地場産物の使用促進は非常に大事な課題と認識している(教

育委員会)。今後、3部局で適宜適切に対処していく(保健福祉部)。

問 学校給食にかかわる食育推進の項目を、重点的に取り組む施策に追加すべきと思うがどうか。

答 子ども世代からの食育、保育所や学校における給食は重要であることから、今後、食育推進会議の中で具体的に検討していく。



人と動物が共生できる社会を目指して

公明党議員団 平山 伸二 議員

9月10日 再質問からの一問一答方式により質問

- 1 消費者教育の充実について (1) 福岡県との連携と本市の取り組み (2) 小中学校における消費者教育
- 2 青少年のインターネット依存対策について (1) 調査報告結果 (2) 小中学校における指導等
- 3 動物愛護と地域猫対策について (1) 手術代の一部補助・助成 (2) 犬・猫等に対する虐待防止
- 4 空き家・空き地の適正管理について (1) 条例化の必要性
- 5 危険ドラッグ・薬物乱用防止に対する取り組みについて (1) 本市の取り組み (2) 小中学校における取り組み

動物愛護と地域猫対策について

問 地域猫対策として、飼い主のいない猫たちを増やさないために、地域猫保護活動をされているボランティアの方たちへの不妊・去勢の手術費用の一部助成と動物虐待防止について聞きたい。

答 猫については、法の規制対象外であり、飼い主のいない猫の不

妊・去勢手術費用の一部助成については、さらなる検討が必要。

動物虐待防止の取り組みについては、市民からの情報収集に努め、早期発見を図り、警察とも連携して虐待防止、啓発に努めたい。

空き家・空き地の適正管理について

問 宇都宮市では、空き地を含め

た空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例が本年7月に施行された。本市でも条例をつくるべきと考えるが、市長の見解は。

答 現在、国において、特別措置法の制定が進められている。

本市においても、特別措置法を注視しながら、必要に応じ条例化の検討を行うなど、適正な空き家対策に取り組んでいきたい。



認知症の予防で高齢者が元気なまちへ

自由民主党議員団 境 公司 議員

9月10日 一問一答方式により質問

- 1 認知症の予防について
- 2 地籍調査の進め方について
- 3 合併浄化槽の取り組みについて
- 4 農地中間管理事業への取り組み状況について

認知症の予防について

問 本市は、認知症ケアでは全国からの視察も多いが、認知症の早期診断に対する見解を聞きたい。

答 早期診断に向けては、医師会や県の認知症医療センターである国立病院機構大牟田病院と連携し、対応力向上に向けたもの忘れ相談医の登録事業、地域のサポートチ

ーム事業などに取り組んでいる。

地籍調査の進め方について

問 本市の国土調査基本計画は、事業期間が長すぎるのではないか。

答 32年の事業期間で事業費約43億円と試算するが、少しでも早い事業完了を目指し、国・県に対し、確実な予算確保を要望していく。

合併浄化槽の取り組みについて

問 生活排水による河川への汚濁負荷量を減らすため、合併浄化槽の普及が進められているが、その取り組み状況を聞きたい。

答 23年度から本体基準工事額の90%相当額まで補助の上乗せを実施しており、戸別訪問による周知など利用促進に取り組んでいる。

連載
おおむた自慢

市民の生命と財産を守る 消防団



火災や災害が発生した際に出勤し、消防職員と連携を図り、消火活動や救助、警戒の呼びかけを行う地域の大牟田市消防団（堺蔵次団長）。地域住民にとってかけがえのない存在です。火災が無いときも、消火栓の点検や夜間警備、また訓練を行い住民の安全を守る役割を担っています。8月現在、市内で、22分団、642人（うち女性団員19人）の団員が活躍しています。

消防団では、新入団員を随時募集されています。

県の消防操法大会で、最優秀指揮者を受賞！

9月7日、県下の自治体の消防団の代表が消火の技術を競う大会が福津市で行われました。指揮者である大塚裕次郎さん（白川分団）が最優秀指揮者を受賞しました。



大塚裕次郎さん

最優秀指揮者を受賞でき素直に嬉しいと同時に支えていただいた方への感謝の気持ちでいっぱいです。

今回は、操法チームの最年長でキャプテンとしてとても責任のあるポジションになりました。大会まで約5ヶ月間自分達の仕事を終えて夜10時近くまで練習を行っていました。はじめは規律もなくチームとしての団結もありませんでした。しかし、訓練を重ねだんだん形になるにつれ私もキャプテンとして常に引っ張っていくという気持ちが強くなりました。また、夜遅くまで訓練の指導をしていただいた消防署・団の指導員の皆さまをはじめいろいろな面でサポートしていただいた団員、家族の協力があつたからこそ今回の最優秀指揮者を受賞できたと思います。今回の受賞で満足することなく地元地域の防災や消防団活動にもより一層邁進したいと思います。

署団一致の伝統

大牟田の消防団の特徴は、昔から消防署との結びつきが非常に強いことです。また、お年寄りのご家庭の火災予防のため、女性消防団員が家庭防火診断を年間を通して行うなど、女性団員の役割も光っています。

しょう太くん
（消防団マスコット）

消防団は
高校生に講習も
やっているよ！



大牟田北高校での講習の様子

入団希望・問い合わせ

消防本部 総務課 消防団係
☎ 53-3521

編集後記

「安心・安全」が、まちづくりの課題として大きく問われる今、消防署と並んで校区の消防団が地域住民の安全を支えていることを、編集しながら改めて考えさせられました。日常的な点検や整備・訓練など、地道な活動をかいま見ました。（あ）

編集 議会報編集委員会

【委員長】北岡あや 【副委員長】平嶋慶二
【委員】大野哲也 森 竜子 吉田康孝

発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地
TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880
E-mail gikaijimu01@city.omuta.lg.jp